



大津市立逢坂小学校

活動テーマ

自分たちのためにみんなで動く、自然豊かな逢坂小学校

実践事例について

1年生は「自然の素晴らしさ」、2年生は「多種多様な生き物の存在」、3年生は「家庭・学校での環境保全活動」、4年生は「地域の環境保全活動」、5年生は「滋賀県の環境問題」、6年生は「地球の環境問題」をテーマに、全学年で系統的に環境学習に取り組んでいる。また、委員会では、紙のリサイクルの推進や節水の呼びかけ、逢坂水族館の管理・運営、栽培活動として逢坂スマイルレインボーロードに取り組んでいる。

学校紹介

本校は、大津駅の南側に位置する全校児童424名、クラス数19の小学校である。1997年にはビオトープ、2008年に



は新校舎、2012年には新体育館が完成するなど、設備にも恵まれている。また、本校は、平成16年度から継続的にエコ・スクール事業に参加し、認定を受けている。さらに過去には、「しが環境教育リーディング事業」にも参加し、『生涯にわたって環境保全活動に取り組む子どもの育成』を目指して、協同的な学びや、E S D (持続可能な開発のための教育) の概念を取り入れた研究を、生活科や総合的な学習の時間に進めてきた。その取り組みが認められ、本年度は、滋賀県環境保全功労者知事表彰や食品容器環境美化協会主催の環境美化教育優良校等表彰を受けた。

キックオフ宣言

今年度も校内のエコ・スクール活動をスタートさせるキックオフ宣言を行った。今年度のテーマは『自分たちのためにみんなで動く、自然豊かな逢坂小学校』とした。話し合いの中で出てきた「エコ活動は、人任せにするのではなく、自分たちが能動的に動くことが大切」「一人ではできないこともみんなとなら達成できるから、みんなで協力しよう」「地域も含めて学校の自然を大切にしていこう」という気持ちを込めて、活動テーマを決定した。そして、エコキララ委員会、自然キラキラ委員会の各委員長が、エコ・スクール活動を始める決意として全校放送を行い、今年度の活動がスタートした。



逢坂小マスコット
キャラクター

委員会の取り組み

◎エコキララ委員会 (リサイクル委員会)

今年度も毎月エコ目標を委員会で考え、それを各教室に広めることで、全校挙げてエコ活動に取り組めるよう呼びかけた。また、教室の古紙を集める「リサイクルボックス」を定期的に点検・回収し、気持ちよくリサイクルに取り組める環境づくりに努めた。ペットボトルキャップの回収にも力を入れ、全校に広く呼びかけた。ペットボトルキャップは B 型作業所の方に引き取ってもらい、リサイクルにつなげた。



◎自然キラキラ委員会 (飼育委員会)

「逢坂水族館」の管理・運営を行った。毎日、生き物の飼育と並行して、水族館にいる生き物のことを調べて掲示したり、名前を募集したりした。また、生き物や自然環境に関するクイズラリーも企画した。それらの活動を行うことで、全校のみんなが自然の事物に興味・関心を持つことができるような環境整備に努めた。

◎夢づくり委員会 (学校夢づくりプロジェクト担当)

「花を通して、たくさんの人と関わる」をテーマに、夢づくりプロジェクトに取り組んできた。全校が登下校で通る道を「スマイルレインボーロード」と名付け、縦割り活動を通して全校のみんなが寄せ植えをした花でいっぱいにしたり、地域の人に協力してもらってできた駅前の花壇の整備に努めたりした。また、地域行事にも参加した。学校の畑で5月から育てたサツマイモに全校から名前とパッケージのデザインを募集し、「逢坂夢ポテト」と名付け、日頃の感謝の気持ちを込めて、たくさんの人に配ることができた。





各学年の取り組み

◎ 1 年生

生活科「あきまつりをしよう」

校外学習で集めたどんぐりやまつぼっくり、落ち葉を使ったおもちゃを手作りし「あきまつり」を行った。グループに分かれて、どんぐりごま屋さんやさかなつり屋さん、パラシュート屋さんなどのお店を開いた。自然の材料をうまくいかせるように、各自が知恵を絞り工夫のある活動ができた。どの児童も意欲的に取り組み、充実した活動ができた。



◎ 2 年生

生活科「ぐんぐん育て、わたしのやさしい」

育て方を調べ、ビオトープで釣ったザリガニを飼育した。はじめは怖がっていた子供も愛着を感じる事ができた。



1年間を通して、ミニトマトやダイコンなどの野菜を育てた。野菜の育て方の違いを感じながら、収穫する日を楽しみに育て、自然と触れ合うことの喜びを感じた。

◎ 3 年生

総合的な学習の時間「身の回りのエコを探ろう～私たちはエコ・スクールキッズ～」



学校や家庭にあるエコを見つけ、それが何のためにあるのかを考えることから学習を始めた。ごみ問題の現状を調べたり、古紙回収業者さんを講師に迎え、実際のごみの量やリサイクルの話の聞いたりした。お話を通して、逢坂小学校で行っている古紙の回収やペットボトルキャップを集める活動がエコに繋がることに気づくことができた。また、今使っているほとんどの紙が再生紙であることを知り、最後まで大切に使用したり、きちんと分別して捨てたりして次の再生紙にリサイクルしていきたいという思いをもった。

の量やリサイクルの話の聞いたりした。お話を通して、逢坂小学校で行っている古紙の回収やペットボトルキャップを集める活動がエコに繋がることに気づくことができた。また、今使っているほとんどの紙が再生紙であることを知り、最後まで大切に使用したり、きちんと分別して捨てたりして次の再生紙にリサイクルしていきたいという思いをもった。

◎ 4 年生

総合的な学習の時間「吾妻川の秘密を探ろう」

1学期には、地域の川である「吾妻川」に出かけ、川の水質や川に生息する水生昆虫などについて調べた。2学期には、森林学習と吾妻川の学習を絡め、川や自然にとっての森林というテーマから水をためる、災害を食い止める等の森林の役割について学習した。また、学習のまとめを行うとともに、4年生主催で「吾妻川展覧会・吾



妻川万博」を開催し、3年生を招待して吾妻川を大切にするためのポイントについて伝えた。

◎ 5 年生

総合的な学習の時間「びわ湖環境学習」

「琵琶湖の〇〇について」のスピーチやフローティングスクールでの体験活動などを通して、外来種の問題やヨシの減少、琵琶湖の水質など、追求したい課題について調べ、分かったことや考えたことを新聞やタブレットにまとめた。また、この学習を進めていく中で、身近にある琵琶湖の水質を守るヨシについての興味関心を深め、オーパルへの校外学習では、カヌーでヨシ帯の見学を体験した。次の世代へ受け継いでいくために、自然に生きる植物を大切にしたり、ヨシを使って学期を作って活用したりするなど、自分たち一人一人ができることを考え、自分の生活を見直すことの大切さを学んだ。



◎ 6 年生

総合的な学習の時間「未来のためにわたしたちにできること」

SDGs について学び、環境問題の課題を見つけ、何ができるかを考え、話し合う活動を行った。その後、環境を守るために、わたしたちが実際にできることを調べたり、考えたりしてポスターにまとめ、校内に掲示した。修学旅行では、兵庫県の「人と自然の博物館」に行き、滋賀県と兵庫県の環境や生態の違いについて興味をもちながら学習することができた。



◎ わかば学級

自立活動・生活単元学習「大きく育てね」

昨年度から引き続き、季節の野菜の栽培活動を行った。キュウリ、ナス、ピーマン、サツマイモ、ダイコン等、たくさん収穫し、喜ぶ姿が見られた。みんなで野菜の種をまいたり、苗を植えたり、世話をしたりすることで、命を育て、大切にする経験ができた。また、栽培や収穫を通して、自然環境への関心を高めることができた。



学校名	大津市立逢坂小学校
住所	大津市音羽台6番1号
電話番号	077-511-9495
E-mail	osaka@otsu.ed.jp
URL	http://www.otsu.ed.jp/osaka

活動テーマに関連する MLGs のゴール

